

岐阜県

ひきこもり支援 ガイドブック



岐阜県ひきこもり地域支援センター
(岐阜県精神保健福祉センター)



はじめに…

岐阜県ひきこもり地域支援センターは、県在住のひきこもり状態に悩むご本人やご家族等の相談を行うと共に、県内のひきこもり支援の体制づくりを目指して、平成28年6月に岐阜県精神保健福祉センター内に開設しました。

当センターでは、ひきこもり状態に悩むご本人やご家族を対象とした個別相談や、当事者同士のグループミーティングの実施を中心に、幅広い支援をしております。また、ひきこもりに悩むご本人やご家族への個々の支援だけでなく、ひきこもりの相談支援に携わる関係機関の皆様と連携した支援体制づくりに努めております。

「岐阜県ひきこもり支援ガイドブック」は、ひきこもり状態に悩むご本人やご家族に、相談窓口や支援が受けられる機関の情報をお届けするために、当センターにおいて、平成30年3月から発行しており、このたび第5版として改訂させていただきます。

ひきこもり状態に悩むご本人やご家族を囲む現状においては、孤立化や生活困窮などの経済的な問題、長期化したひきこもりの方を支えるご家族の高齢化の問題など、多種多様で複雑な課題があり、切実な悩みを抱えられておられる状況です。

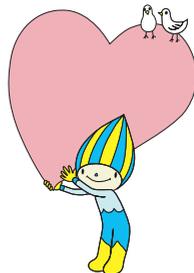
このガイドブックが、ひきこもり状態に悩むご本人やご家族の不安の軽減や回復の一助として、さらに一緒に考えられる仲間や支援者との出会いにつながり、安心感や希望をもつきっかけになればと、切に願っております。

また、各相談支援機関の方々へは、それぞれの機関の情報共有や相互理解のためにご活用いただければと思います。

今後も、当センターは、ひきこもり状態に悩むご本人やご家族に寄り添い、各相談支援機関と連携した包括的な支援体制の整備を進めるとともに、各機関の特性を生かした支援を、タイムリーかつ継続的に提供できるよう努めてまいります。

最後に、各相談支援機関の皆様には、本ガイドブック作成にあたり、情報提供等のご協力いただきましたことを、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

岐阜県ひきこもり地域支援センター
(岐阜県精神保健福祉センター)



目次

1 このガイドブックを手にされた方へ	1
2 ひきこもりに悩むあなたへ ～ひきこもり経験者からのメッセージ～	3
3 ひきこもりに悩む方と暮らすご家族へ ～同じ悩みを抱えたご家族からのメッセージ～	5
4 このガイドブックに掲載している機関・団体、 使用している用語について	7
5 ひきこもり支援団体	8
・ひきこもり支援団体の所在地	8
・①NPO法人 チュラサンガ	9
・②NPO法人 仕事工房ポポロ	11
・③NPO法人 コミュニティサポートスクエア	13
・④NPO法人 SIS (その人らしさを支える会)	15
・⑤岐阜ドレミファの会	17
・⑥NPO法人 つむぎの森	19
・⑦西濃地域ひきこもる人を持つ家族会	21
・⑧りんご倶楽部	23
・⑨NPO法人 結び場	25
・⑩NPO法人 生活支援ネット・ぐじょう	27
・⑪BAKETSUの会	29
・⑫NPO法人 Earth as Mother岐阜(東濃エリア)いくるば	31
・⑬NPO法人 Earth as Mother岐阜(飛騨エリア)いくるば	33
・⑭アンダンテ実行委員会	35
・⑮あゆむ会	37
・⑯ひきこもり相談・交流の場 ツナガルCafé	39
・⑰一般社団法人 もちもちびと	41
・⑱岐阜オレンジの会	43

6 岐阜県ひきこもり地域支援センター	45
7 岐阜県内の相談窓口	49
・保健所	49
・岐阜県青少年SOSセンター	49
・子ども相談センター	50
・発達障害者支援センター	50
・24時間子供SOSダイヤル	50
・教育相談ほほえみダイヤル	51
・ぎふ法務少年支援センター	51
・岐阜県若者サポートステーション	51
・ハローワーク(公共職業安定所)	52
・警察(警察安全相談)	52
・岐阜県生活支援・相談センター(岐阜県社会福祉協議会)	53
・市町村及び市町村社会福祉協議会	53



1 このガイドブックを手にした方へ

「どこに相談に行ったらよいのかわからない」「どのような支援機関があるのか知りたい」という声に答えるために、県内の相談支援機関の情報をまとめました。

このガイドブックは、現在ひきこもりを経験している方や、そのご家族が手に取りやすいように作成しました。支援機関の活動や、安心してひきこもりについて話すことができる窓口です。

地域で相談支援に携わる方々にも、このガイドブックを利用していただくと幸いです。

様々な孤立状態にある方が、相談支援機関とつながり、少しずつ話をするきっかけや、新たな出会いがあることを願っています。

ひきこもりとは…

ひきこもりは社会的に孤立し、様々な生きづらさを抱えて生活上の困難を感じていたり、家族を含む他者との交流が希薄な状態にあるなど、ご本人にとっては、ひきこもらざるを得ない深刻な事情があります。

(岐阜県ひきこもり支援のあり方に関する指針より)

支援の対象者は、厚生労働省が示す定義による「様々な要因の結果として社会的参加(義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交流など)を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている人(※)」を基本としますが、6か月以上といった期間などにこだわることなく、生きづらさを抱えてひきこもり状態にある人を広く支援の対象とします。

※出典：厚生労働省「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」(H22.5月)より

まずは、ひとりで抱え込まず、お気軽にご相談いただければと思います。

ひきこもりへのまなざし

<岐阜県ひきこもり地域支援センターホームページより引用>

ひきこもりからの回復は、ご本人のありようが尊重され、安心できる居場所があることによって初めて、ご本人も周囲の雑音から距離をとり、自身の生きづらさと静かに向き合い、次の一歩を踏み出せるようになります。それは大切な時間です。

勇気を出して相談されたことに思いを寄せ、今できることを共に考えるように努めています。そして、ご本人の望む生き方を一緒に探しながら、社会とつながることを目指しています。



2 ひきこもりに悩むあなたへ

～ひきこもり経験者からのメッセージ①～

ひきこもりには「二重の扉」がある。

この考えに至った過程を聞いて下さい。

今までに様々なひきこもりの講演や居場所などに参加してきた。そんな自分が思うのは、話半分で読んでほしいということ。何故なら、その方が自分との共通点を見つけやすいから。

「境遇が違うのに同じ考えを持っている」そんな感情が生まれてくると思う。

ひきこもりは、現実の世界で耐え難いストレスなどを感じてしまうようになってしまう。しかし、それは駄目なことかと言われると、そうではない。ひきこもることにより自己防衛をしたのだと思う。ひきこもること自体は決して悪いことではないはずだ。問題なのは、それが長期化してしまうこと。自分の場合は、それで精神を病んでしまった。なんとか脱しようとした結果、思い付いたのが冒頭にあった二重の扉だった。

一つは「玄関の扉」もう一つは「心の扉」。

なんとか玄関の扉を開けて社会に出ても、「心の扉」が閉まっていたは長続きしないと思う。精神的ひきこもり状態と言えるかもしれない。

今の自分は、「玄関の扉」は開いていて、「心の扉」の中には入っていないが、その扉自体は視界から消えることはない。

これまで様々なサポートを受け、人と交流をしてきて現在思うのは、なるべく扉を遠ざけるように意識をしていること。扉を遠ざけるために、空いた精神的空間に趣味や仕事、居場所などをレイアウトしていくように努めている。

要するに、玄関の外で何かストレスを感じた時にすぐ近くに「心の扉」があると、つい手を掛けてしまう。しかし、その扉が遠くにあっても、もっと近くに自分がレイアウトしたものを手に取ることが出来るといいと思う。

大切なのは、心の扉に手を掛けるのを最初の選択肢にしないこと。そうして生きていくと、扉自体が絵画として、生きた証になると思う。

自分は「玄関の扉」を開き続けます。

今のあなたの苦痛も扉も生きた証として意味があることを願いながら…いつか会えたらいいですね。

(当センター利用中のご本人より)

～ひきこもり経験者からのメッセージ②～

私は生まれつき心臓に病気を抱え、子供の頃に大きな手術を受けています。胸に残った手術痕は、子供の頃の私にとって大きなコンプレックスでした。手術痕を見られた時の周囲の反応に傷つくことも多く、その心の傷は今でも残っています。

コロナ禍で仕事を失い、新しい職場でも人間関係がうまくいきませんでした。これまでの人生を振り返り、辛い出来事が幾度も思い出され、深い絶望感に包まれました。精神的にも肉体的にも限界を迎え、それがひきこもりとなった理由です。

そんな中、図書館で行われている居場所の情報を知り、勇気を振り絞って居場所に足を運んだことが、精神保健福祉センターとつながるきっかけとなりました。

センターでのグループミーティングに参加した際、偶然スマホで撮った写真を職員の方に褒められました。その言葉が嬉しくて「カメラを買えば外に出る機会が増えるかもしれない」「また写真を褒めてもらえるかもしれない」という単純な考えで、カメラを購入して写真を撮り始めました。

私にとって、写真を撮ることは単なる趣味ではなく、自殺予防の手段でもあります。美しい景色、刻一刻と変わる光景を写真に収めるたび、「この世界にはまだ素敵なものがたくさんある」と気づかされます。その発見が、私の心に「もう少し生きていたい」と思う気持ちを宿らせてくれました。

風景は常に変わり続けます。たとえば桜の花は毎年咲きますが、その美しさは一瞬のものです。そのため「来年も桜を撮りに行こう」という未来への希望が生まれました。その希望が、私の心の支えとなっています。

もし今、外に出ることが怖かったり、生きる希望を見失っている方がいるなら、写真を撮ってみることをお勧めします。写真を撮ることで外の世界とつながりを感じ、特別な瞬間を発見する喜びに出会えるかもしれません。そして、その一歩が、少しずつでも前に進む力となることを心から願っています。

(当センター利用中のご本人より)

3 ひきこもりに悩む方と暮らすご家族へ

～同じ悩みを抱えたご家族からのメッセージ①～

娘がひきこもったのは、中学3年生、15歳の時でした。

私は、娘がこれから高校に進学をする夢を描いていました。娘が中学校に登校できないことを、直ぐには理解できませんでした。

最初はさぼっていると思いました。

無理をすれば、また以前のように学校へ行けると考えていました。

それまでも中学校に行きたくないというメッセージは娘から感じていましたが、私としては、大切な時期なので学校に行ってほしいという、思いの方が強かったと思います。

ひきこもった当初は、誰かがいじめたのではないかと考えたり、育て方が悪かったと、自分を責めたりしました。

しかし、ひきこもり家族グループミーティングに参加して、他のご家族のお話を聞くうちに、生き方も一人一人の個性も、様々であると考えようになりました。

ありのままの娘を理解したいという気持ちが、私の中で芽生えました。娘も少しずつですが、子供のころから生きづらさを感じていたことを話し始めました。

親子であっても子供が生きづらさを抱えていることに、気づくのには時間がかかりました。周りの人に生きづらさを理解してもらうのは、難しい部分もあったかもしれません。

私も、ひきこもりの家族としてとても悩みました。

私の場合は、家族だけでその不安を解消し、心を軽くすることはできませんでした。

しかし、同じ悩みを抱えるご家族とのグループミーティングがあることを知り、幾度か参加するうちに、心が軽くなっていくような気がしました。

心が軽くなると、娘との関係も以前よりももっと穏やかになり、いろんな話をするようになりました。そしてまた、岐阜県ひきこもり地域センターという専門機関とつながることは、家族にとっても安心感をもたらすと思います。

(当センター利用中のご家族より)

～同じ悩みを抱えたご家族からのメッセージ②～

我が家には、就労していない二十代の息子が二人います。

最初にひきこもったのは次男です。元々育てるのに手が掛かった子供でしたが(後に発達障がい診断)、中学入学早々、嫌な思いをしたのをきっかけに学校に行かなくなりました。

真夏に風呂も入らず、夜になると床をドンドン叩いたり、ずっとゲームばかりしている次男に困り果て、当時は私も夫もどうしたら良いか分かりませんでした。

そのうち包丁を部屋に持ち込んだり、机に「死ね」と掘ったりするようになった為、色々なところに相談に行きましたが、これといった進展はなく焦るばかり。その状態がしばらく続きました。

数ヶ月経った頃、不登校児親の会と出会いました。参加してみると、子供が不登校にもかかわらず、参加されているお母さん方が、皆さん笑顔でおしゃべりされているのに驚きました。

学校は無理に行かせなくていい、家族が仲良くしていることが子供の安心に繋がる、など学ぶうちに、自分がどんどん落ち着いていくのが分かりました。

次男自身はコンビニなど外に出られるようになるまでにはかなり時間が掛かりましたが、親子関係は良くなっていきました。

現在は、大学に進学するも生きづらさから中途退学した長男も、自宅で絵を描いています。次男は支援を受け、今では一人で受診できるまでに回復しました。

とは言え、見守っているとやはり時々辛い気持ちにはなります。そんな時、同じ境遇のご家族と語り合うことで気持ちが楽になり、辛いのは自分一人ではない、元気でないと見守れない、と再確認して、また家で息子たちを見守ります。

そして今、私は「ツナガルCafé」というひきこもり相談・交流の場を毎月開催するボランティア活動をしています。私が親の会で元気をもらったように、辛い気持ちで日々過ごされてされているご家族に、少しでも元気になってもらいたいという思いで活動しています。その場所で、今は自分が笑顔でおしゃべりしています。

(当センター利用中のご家族より)

4 このガイドブックに掲載している機関・団体、 使用している用語について

◎掲載している機関・団体について（令和7年1月時点）

このガイドブックに掲載してあるのは岐阜県内の支援機関です。

民間の支援機関については、具体的な支援内容についても記載してあります。

（「支援内容」については、実施しているもののみを記載）

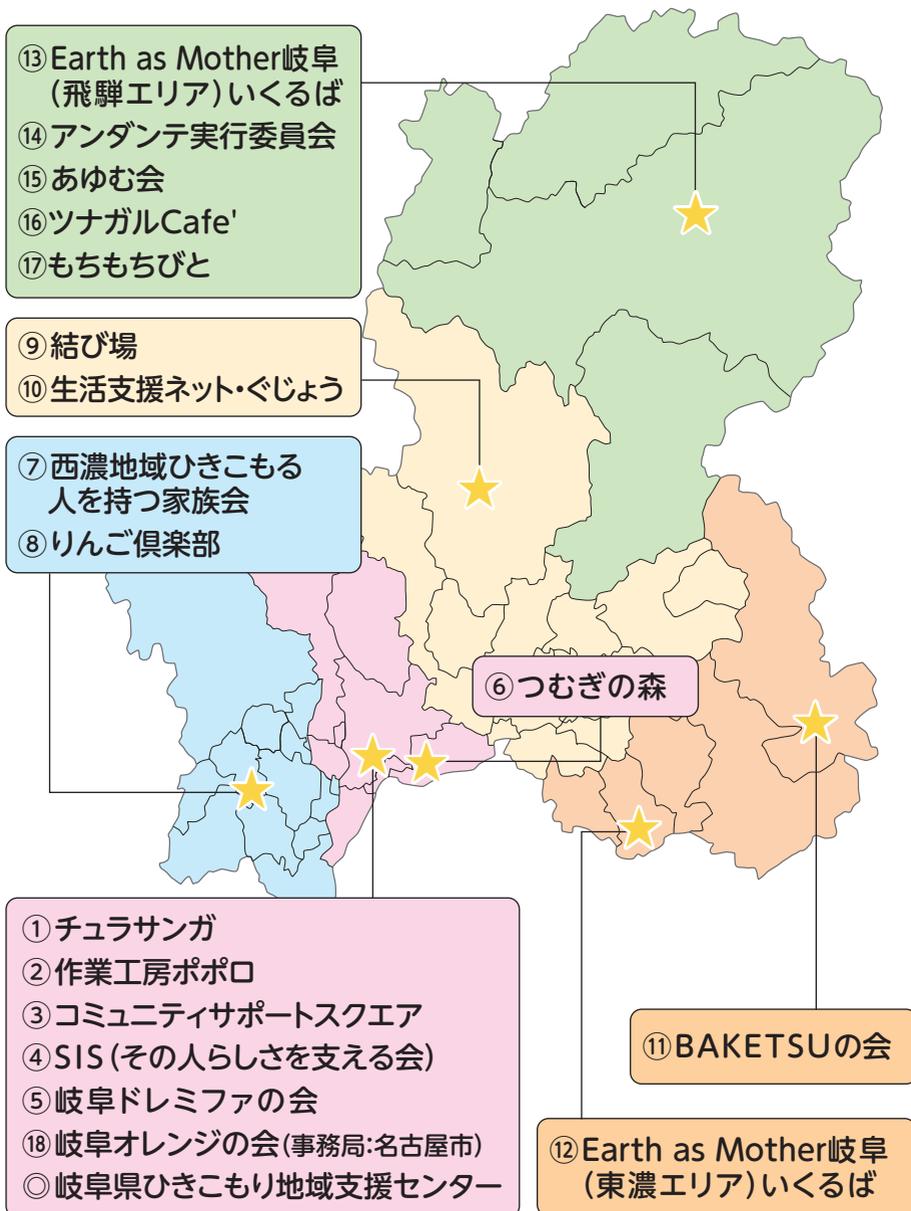
公的機関については、その支援機関の機能を中心に掲載しております。

◎使用している用語について

- ・面接相談…支援機関において、支援者と顔を合わせて相談ができません。
- ・カウンセリング…支援機関において、支援者によるカウンセリングが受けられます。
- ・電話相談…電話で支援者と相談ができます（メール、Faxも同様）。
- ・訪問支援…支援者がご自宅を訪問し、ご本人・ご家族の相談に応じます。
- ・外出同行…ご本人の外出に支援者が付き添います。
- ・居場所提供…ご本人の家庭以外でのホッとできる場所であったり、同じような悩みを抱えた方との交流の場です。
- ・共同生活…支援機関にて、共同生活を行うことができます。
- ・職場体験…就業の練習として、仕事に慣れる場を提供します。
- ・就労支援…就労に向けた支援を行います。
- ・親の会・家族会…同じ悩みを抱えるご家族の交流の場を提供します。
- ・ニュースレター…支援機関からの情報発信として、広報誌等を発行します。
- ・学習支援…主に学齢児を対象として、学習の支援を行います。



5 ひきこもり支援団体 (ひきこもり支援団体の所在地)



名称	① NPO法人 チュラサンガ	
連絡先	住所	〒501-0104 岐阜市寺田852番地 円成寺内
	電話番号	058-253-9350
	F a x	058-253-9350
	問合・受付時間	8:00~20:00
	e メール	culasamgha@royal.ocn.ne.jp
	ホームページ	http://culasamga.ec-net.jp/
支援方針 活動内容	<p>今の競争社会で作り出された勝ち負け、上下、優劣の世界の差別から来る「こだわり」「不安」を超え、大自然の「異なったままで同じ」の世界に気づくとき、周りを気にせず、「痛み」「喜び」を共感できる安らかなる人生が開けてきます。</p> <p>ひきこもりの青壮年や、不登校・精神的な悩みを持つ人たちの社会復帰の現状を打開すべく活動しています。</p> <p>地域の農地を借りて、農業をしています。</p> <p>より幅広い皆様の協力をお願いします。</p>	
開所時間	活動内容によります。	
利用手続き	ひとまずお電話ください。	
利用料		
対象者 (年齢・地域など)	ひきこもりに悩む方、人生につまずいた方、どなたでも大丈夫です。	
スタッフ情報	農業スタッフ、僧侶、ボランティア	
利用状況	平均10名程度です。	
交通機関	岐阜バス 曾我屋線「合渡小学校前」下車 徒歩2分	
駐車場	あります。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	<input type="radio"/>	
カウンセリング	<input type="radio"/>	
電話相談	<input type="radio"/>	
メール相談		
訪問支援		
外出同行		
居場所提供	<input type="radio"/>	9:00~17:00 (基本) 詳しくはお問い合わせください。
共同生活	<input type="radio"/>	
職場体験	<input type="radio"/>	農業体験、福祉体験など
就労支援		
親の会・家族会		
ニュースレター		
その他	<input type="radio"/>	学習支援、仏教等勉強会

支援者からのメッセージ

お待ちしております。

名称	② NPO法人 仕事工房ポポロ	
連絡先	住所	〒502-0812 岐阜市八代3丁目27-8
	電話番号	058-337-0701
	F a x	058-337-0728
	問合・受付時間	火・金 10:00～16:00 時間外 090-7432-9158 (中川)
	e メール	info-popolo@qc.commufa.jp
	ホームページ	http://www.facebook.com/shigotopopolo/ (FB)
支援方針 活動内容	<p>外に出るきっかけがほしい、でも人との関わりが苦手、人が怖い…そんな人たちに会いと仲間づくりの場を提供し、人間関係の肯定的なつながりの一歩にしてほしいと願っています。そして、はたらき方の体験や仕事づくりを通して、ご本人の役立ち感と自信の回復を目指しています。</p> <p>【活動内容】フリースペース(居場所の提供)、様々なイベントへの参加、風のたよりプロジェクト、家族会、ラルジュ(女子会)、多様なネットワークづくり、就労準備支援、相談活動(来所、訪問、手紙、メール等)、ニュースレター発行、等</p>	
開所時間	火・金 11:00～16:00	
利用手続き	まずは、ご相談ください。見学は随時。	
利用料	原則として無料。ニュースレター購読は年間3,000円(送料込み)。ただし、収入のない当事者、経済的困窮家庭は無料で。	
対象者 (年齢・地域など)	10代～40代、50代程度。地域的限定はありません。県外のメンバーもニュースレター等でつながっています。	
スタッフ情報	当法人の理事7名中、元当事者が3名。年齢は30代～60代。	
利用状況	フリースペース開所時間には、多様な人が三々五々集まり、お話をしたり、作業やスタッフの手伝いをして過ごしています。土、日に多いイベントにもコーヒーや物品販売などに出かけています。	
交通機関	岐阜バス 高富方面行「下岩崎」下車 徒歩1分	
駐車場	あります。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	
カウンセリング		
電話相談	○	
メール相談	○	
訪問支援	○	
外出同行	○	
居場所提供	○	毎週火、金曜日 11:00~15:00
共同生活		
職場体験		
就労支援	○	
親の会・家族会	○	参加費 200円 (不登校の親の会…ほぼ毎月第2日曜日、ひきこもりの家族会…ほぼ毎月第3日曜日)
ニュースター	○	毎月1回発行 年間3,000円 (送料込み)、1部 300円
その他	○	学習支援: 毎週月、水曜日、金曜日の17:00~21:00

支援者からのメッセージ

ひきこもる人たちの問題は、大きな社会的な問題です。私たちは、誰もが人との豊かなつながりの中で生きる権利があり、幸せに生きられる社会を願っています。私たちは、ひきこもる人を何とかしてあげようというわけではありません。私たちが関わる若者たちの多くは、働きたいし、人の役にも立ちたいとも思っています。問題は、使い捨て労働やブラックな働き方、低賃金、長時間労働などに象徴されるように、社会が若者たちの活躍できる場をつくれてこなかったことにあると考えています。これは、大きな社会的損失です。高齢化社会の中で、若者たちの力を借りることなくして社会は持続できません。若者たちが希望を持ってない社会に未来はありません。そのために私たちの取り組みは、若者たちが生き生きと活躍できる社会づくりへのモデルと思っています。ぜひ、みなさんの力を私たちに貸してください。いっしょに歩んでいきましょう。

名称	③ NPO法人 コミュニティサポートスクエア	
連絡先	住所	〒502-0002 岐阜市栗野東5丁目244番地 (コミュニティ・カフェわおん)
	電話番号	058-237-1661 (わおん)
	Fax	—
	問合・受付時間	電話は出られる時は対応します。メールのご利用をお勧めします。
	eメール	sugiura@cafe-waon.com
	ホームページ	http://cafe-waon.com/ (コミュニティカフェわおん)
支援方針 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・若者を中心とした市民の孤立、孤独の予防と社会参加の機会の提供を勤めています。 ・喫茶わおん ・焼きそばなどの露店販売の体験。 ・「いごこちCozyわおん」(岐阜市中央青少年会館) での週1回の交流会等、詳しくはお問い合わせください。 	
開所時間	わおん：月～金8：00～14：30	
利用手続き	面談により、適切な関わりを決めます。	
利用料	支援に関する費用は設定していません	
対象者 (年齢・地域など)	生活困窮家庭の子どもの学習支援：小4～中3 就労、経済的自立を中心とした支援：16歳～	
スタッフ情報	10年以上若者の就労自立支援に関わってきた者が理事長他、一般の民間人、ボランティア等	
利用状況	学習支援：10名弱の小中学生 自立支援：20代～40代が3～5名程度	
交通機関	わおん：岐阜バス高富線「栗野口」下車 約100m	
駐車場	あります (カフェ前6台)	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	要予約です。利用料は無料。
カウンセリング		
電話相談	○	随時。
メール相談	○	随時。
訪問支援		
外出同行		
居場所提供	○	毎週火曜日17:00~20:20、岐阜市中央青少年会館にて。 年齢制限なし。
共同生活		
職場体験	○	わおん、イベントでの露店、さつまいも畑など、 様々な形で提供できます。
就労支援	○	就労体験は無料及び無報酬です。
親の会・家族会		
ニュースレター		
その他		

支援者からのメッセージ

支援というより、人付き合いだと思って活動しています。やれることがあれば、ご本人に役割を持っていただき、少しでも社会参加の実感を持ってもらえたらと思っています。飲食業務では、頑張りに応じた謝礼も出すようにしていますので、頑張りたい人には適した何かが見つかるかもしれません。きっかけが欲しい人、一度連絡してみてください。

名称	④ NPO法人 ^{シス} SIS (その人らしさを支える会)	
連絡先	住所	〒500-8076 岐阜市司町40番地5 みんなの森 ぎふメディアコスモス 市民活動交流センター内
	電話番号	080-3645-3705
	相談専用電話	070-1528-2607 (木曜日午前10時～午後5時 祝祭日お休み)
	問合せ・受付時間	メールを入れてもらえば返信します。
	eメール	cuore@sis-oasis.com
	ホームページ	https://sis-oasis.com
支援方針 活動内容	人間関係や生き方、子育てなどに悩む人たちや、不登校・ひきこもりの青少年などに対する支援活動を行っています。 具体的には、電話やメールによる相談、カウンセラーやメンタルフレンドの育成と派遣、支援者や当事者、家族を対象にした公開講座や、コミュニケーション力をつけるための傾聴や自己表現のワークショップを行っています。 また、月に一度“はぐはぐ”という名で自由に過ごせる場を設けています。	
開所時間	活動により、様々な時間帯・形態になります。	
利用手続き	メール、およびホームページからお問い合わせください。	
利用料	「支援内容」をご参照ください。	
対象者 (年齢・地域など)	県内外にお住いの青少年・成人の方	
スタッフ情報	心理カウンセラー、社会福祉士、看護師、助産師など 顧問・相談役として、児童精神科医、内科医、臨床心理士	
利用状況	メール・電話相談、面談等を5名程度が利用中です。 イベント・研修などは10～50名程度の利用があります。	
交通機関	活動に合わせて、ご案内させていただきます。	
駐車場	会場によりますが、基本的にあります。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	予約が必要です。
カウンセリング	○	5,000円(1時間) 初回のみ7,000円(90分)
電話相談	○	相談専用ダイヤル: 070-1528-2607 (木曜日午前10時～午後5時 ※祝祭日お休み) LINE電話 
メール相談	○	◎メール相談専用アドレス helpline@sis-oasis.com
訪問支援	○	メンタルフレンド派遣2,000円(1時間) + 旅費 (初回面談5,000円)
外出同行		
居場所提供	○	第2土曜日午後「はぐはぐ」
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会		
ニュースレター	○	月1回程度 メルマガあるいはLINEにて発行しています。
その他	○	団体に向けて「傾聴」や「コミュニケーションスキルアップ」などの出張講座や、他の組織と連携するための広報活動を行っています。

支援者からのメッセージ

不登校やひきこもりの中で生き苦しくなったり、何だかわからないけど生きづらいな、人間関係に疲れるなと思ったことはありませんか。
少し気分や生活リズムを変えてみたい、何か楽になる方法があれば試してみたい、と思った時は、いつでもお声をかけてください。
メンタルフレンドやカウンセラーとの触れ合いや関わりを通じて、自分らしく、落ち着いて楽に過ごせることを願っています。

名称	⑤ 岐阜ドレミファの会	
連絡先	住所	〒500-8141 岐阜市月丘町3-20
	電話番号	080-3178-5359
	F a x	058-337-3031
	問合・受付時間	9:30~20:00
	eメール	doremifa8050@gmail.com
	ホームページ	https://doremifa8050.amebaownd.com/
支援方針 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校から長期化するひきこもり状態にある当事者とその家族の精神的な安定と現状改善を図るために、仲間が集うことができる定例会及び居場所運営 ・長期化するひきこもり、8050問題、親が当事者を支える家庭内における複合課題に取り組む ・官民連携を基本に、ひきこもりについての理解を深めるためシンポジウムや講演会、勉強会、座談会を開催 	
開所時間	月一回の定例会（基本第2日曜13:30～）と 月二回の居場所（13:30～） いずれもホームページにて掲載	
利用手続き	要予約 080-3178-5359（篠田）	
利用料	無料 会員は年会費3,000円	
対象者 （年齢・地域など）	親であること、家族であること（当事者は親・家族の同伴）	
スタッフ情報	ピアサポーター3名	
利用状況	月例定例会参加人数10～15名	
交通機関	岐阜バス金園町9丁目、岐阜日産前下車	
駐車場	あり	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	<input type="radio"/>	
カウンセリング	<input type="radio"/>	
電話相談	<input type="radio"/>	
メール相談	<input type="radio"/>	
訪問支援		
外出同行		
居場所提供	<input type="radio"/>	
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会	<input type="radio"/>	
ニュースレター	<input type="radio"/>	
その他		

支援者からのメッセージ

不登校、ひきこもりで悩んでおられる方、またはお知り合いにおられる方、是非お電話を頂ければと思います。同じように困っておられる方々と一緒に学ぶことで、ヒントを見つけて改善していきましょう。

ピアノ演奏・陶芸指導・茶道(有楽流)などを取り入れた居場所。特に親の居場所を目指しています。

名称	⑥ NPO法人 つむぎの森	
連絡先	住所	〒504-0942 各務原市小佐野町3丁目54番地
	電話番号	090-1723-3002 (豊永)
	F a x	058-227-3101
	問合・受付時間	終日可能 (着信いただければ返信致します)
	e メール	tumuginomori2010@yahoo.co.jp
	ホームページ	https://martin509.wixsite.com/tumuginomori2010
支援方針 活動内容	<p>活動理念:「人と人・人と自然がつながり支え合う世界をつくる」 ひきこもる理由は様々、抱えている困難も様々、一人一人の生きづらさに寄り添い、仲間とともに支え合いながら自分らしい暮らし方を模索する活動をしています。</p> <p>活動内容 (居場所)フリースクール「どんぐり」/地域活動支援センター「まいむ」/ 傾聴サークル「あ・うん」の会 /若者の居場所「未知草」 (就労支援)就労自立支援「手づくり工房まーゆ」 (個別支援)個別相談「くーむ」/ 訪問支援「そなたくらぶ」 (コミュニティ活動)ふれあい農園「つむぎ野」</p>	
開所時間	フリースクール 火・木・土曜日10:00~17:00 (個別スケジュール) 地域活動支援センター 月曜日~土曜日10:00~19:00 他はお問合せください。	
利用手続き	初回面談の上、個々の状態にあった事業への参加となります。地域活動支援センター利用の場合は医師の診断書が必要です。	
利用料	会員登録入会金 1,000円：正会員 一口3,000円以上： 賛助会員 一口1,000円以上 各事業により参加費が異なりますので詳細はお問い合わせください。 地域活動支援センターは各務原市の福祉サービスです。	
対象者 (年齢・地域など)	年齢不問 (特に15歳~35歳までの参加者が多い)	
スタッフ情報	各事業部責任者1名・ピアサポーター1名の体制 就労支援・相談事業・企業研修等の実務経験者	
利用状況	各事業5名~10名の利用	
交通機関	つむぎの森：名鉄各務原市役所前駅~ふれあいバス小佐野停 もしくは各務原イオンバス利用 地域活動支援センター：名鉄各務原市役所前駅 徒歩5分	
駐車場	建物敷地内に駐車可	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	親子面談・家族間の問題・課題の整理と解決のためのコーディネート(要予約)
カウンセリング	○	自己課題を見つけ、自己決定のための伴走(要予約)
電話相談	○	随時相談受付をしています。 継続相談はカウンセリングと同様枠での扱いになります。
メール相談	○	ホームページからご連絡ください。メールカウンセリング可
訪問支援	○	サポートを受ける方の状態に合わせた内容で対応します。 本人の合意が得られない場合は、家族サポートから始まります。
外出同行	○	サポートを受けたい個別の内容に対して対応をしています。 (美容院への同行、免許の更新、リクレーション等)
居場所提供	○	つむぎの森では、参加する人の状態にあわせ、事業ごとが居場所になっており、各居場所は交流することができるので、障がいのあるなし、年齢も問わず様々な体験活動ができます。
共同生活		
職場体験	○	企業研修・農業実習・NPO事務等
就労支援	○	農作業・パソコン実習・経理実務等
親の会・家族会	○	第3月曜日13:00から つむぎの森【傾聴ピアサポート】
ニュースレター		
その他	○	まじくるカフェというコミュニティカフェを開催し、自分たちで経営の実践と地域の人たちと触れ合う場づくりをしています。

支援者からのメッセージ

つむぎの森が大切にしていることは、「**生き心地のいい暮らしをする。**」ということです。つむぎの森の中には、お母さんたちの居場所、子どもの居場所、障がいのある人の居場所などいくつかの居場所があり、そこでこれまで抱えてきた生きづらさを分かち合い、自分がしたいと思うことにチャレンジ!!すると、だんだん心がわくわくしてきます。最初に来た時には、誰とも話さず、目を合わすこともできなかった人が、体験活動を通じて自信を取り戻し、自ら進む道を見つけていきます。つむぎの森の特徴は、当事者がスタッフになっていること。支援ではなく、ともに学びあいともに支えあう、というスタイルです。つむぎの森には、つむぎ野というコミュニティファームがあり、障がいや、ひきこもり、不登校、高齢など関係なく、誰でも参加できる畑があります。そこで作った野菜を販売したり、農作業をしたり、自分たちのカフェも開いています。自然の中ではみな同じ、**つむぎの森はひとりぼっちを作らない。**

名称	⑦ 西濃地域ひきこもる人を持つ家族会	
連絡先	住所	〒503-0984 大垣市綾野1-2736
	電話番号	090-9027-0132 (伊藤)
	F a x	0584-91-9021
	問合・受付時間	随時
	e メール	keikoko3j@gmail.com
	ホームページ	—
支援方針 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度(第4日曜日 午後2時～4時)の家族会で交流や相談を行っています。 ・家族会と同時に「西濃でんでんむしの会」を開いています。当事者の交流会、居場所です。 ・月に一度(第3日曜日 午後1時半～4時)ひきこもり女子の居場所「ラルジュ」を行っています。 	
開所時間	「支援方針・活動内容」をご参照下さい。	
利用手続き	特になし	
利用料	無料	
対象者 (年齢・地域など)	西濃地域	
スタッフ情報	家族会では、NPO法人仕事工房ポポロ(090-7432-9158(中川さん))が助言・相談に応じます。	
利用状況	どの会にも、平均5～10名が参加	
交通機関	大垣市綾里地区センター：名阪近鉄バス「綾里小前」下車	
駐車場	大垣市綾里地区センターの駐車場をご利用ください。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談		
カウンセリング		
電話相談		
メール相談		
訪問支援		
外出同行		
居場所提供	○	「西濃でんでんむしの会」「ラルジュ」は当事者の居場所です。
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会	○	場所：大垣市綾里地区センターまたは綾野公民館
ニュースレター		
その他		

支援者からのメッセージ

家族会：「わが子だけがどうして…」という孤立感と「親も高齢になってこのままではどうなるのか」と、辛い思いを長い間ひとりで抱えてこられた方が、少し安心でき、今のこと、これからのことを落ち着いて一緒に話せて聞き合って考えていける場所です。

「西濃でんでんむしの会」：安心して集まって、話せる場所、いつ来てもいいし、いつ帰ってもいい月に一度だけの居場所です。

「ラルジュ」：日常生活の中での悩みや困りごとを共有でき、ほっとできるひと時を過ごせる女子会です。

名称	⑧ りんご倶楽部	
連絡先	住所	〒503-1251 養老郡養老町石畑483-2 (養老町図書館2F研修室)
	電話番号	090-4252-8958 (大倉)
	F a x	0584-34-2083
	問合・受付時間	平日は17時から24時
	eメール	to.haruh3-enjoy@ezweb.ne.jp
	ホームページ	—
支援方針 活動内容	不登校・ひきこもりで辛い思いを抱える当事者にどのように接したり、話したりすれば今より楽になれるかを、一緒にお話をしながら考えていく家族会です。 定例会の他、講演会の情報、個別相談もしています。	
開所時間	毎月第1火曜日 13:30~15:30 (変更の場合あり。お電話にてお問い合わせください。)	
利用手続き	お電話にてお問い合わせください。	
利用料	無料	
対象者 (年齢・地域など)	どなたでも。	
スタッフ情報	当事者の家族	
利用状況	毎月3~5名程度。	
交通機関	養老鉄道「美濃高田」駅より徒歩約25分(1.8km) 事前に連絡をいただければ最寄駅まで送迎いたします。	
駐車場	あります。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	<input type="radio"/>	要予約です。
カウンセリング		
電話相談	<input type="radio"/>	出られない時は折り返します。
メール相談	<input type="radio"/>	
訪問支援		
外出同行		
居場所提供		
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会	<input type="radio"/>	毎月第1火曜日13:30~15:30(変更の場合あり。お問い合わせ下さい)
ニュースレター		
その他		

支援者からのメッセージ

話すことで、来た時よりも少し肩の力が抜けて、心の余裕が生まれることを目指して、楽しい集まりの場になればと思い、開いています。
お気軽にお越しただけたらと思います。

名称	⑨ NPO法人 結び場	
連絡先	住所	〒501-4224 郡上市八幡町城南町266番地15
	電話番号	0575-67-0651
	F a x	0575-67-0651
	問合・受付時間	年中無休
	eメール	musubiba30303@yahoo.co.jp
	ホームページ	—
支援方針 活動内容	<p>ひきこもってみえるご本人・ご家族が抱いてみえる悩みや不安に対し、何かしらのお手伝いができればよいと、平成17年8月2日に立ち上げた法人です。</p> <p>ひきこもり支援は20年以上行っています。 電話・訪問等いつでも対応しています。</p>	
開所時間	8:30～17:30 (相談支援事業所)	
利用手続き	お電話にてお問合せください	
利用料	無料	
対象者 (年齢・地域など)	特に規定なし	
スタッフ情報	社会福祉士 心理カウンセラー 精神保健福祉士	
利用状況	現在、ご本人4名、ご家族は9名ほど利用	
交通機関	長良川鉄道「郡上八幡」駅より徒歩5分	
駐車場	6台	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	<input type="radio"/>	ご本人・ご家族の要望にできる限りお応えします。
カウンセリング	<input type="radio"/>	心理カウンセラーによるカウンセリングを行っています。
電話相談	<input type="radio"/>	
メール相談	<input type="radio"/>	Fax相談も対応しています。
訪問支援	<input type="radio"/>	
外出同行		
居場所提供	<input type="radio"/>	学習指導、軽スポーツ、調理等を行っています。
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会	<input type="radio"/>	月1回開催。
ニュースレター		
その他	<input type="radio"/>	学習支援（高卒認定試験等を目指す方への支援等）を随時実施。

支援者からのメッセージ

ご本人、ご家族のお気持ちに少しでも寄り添える支援ができることを目標にしています。
共に歩んでいきませんか？

名称	⑩ NPO法人 生活支援ネット・ぐじょう	
連絡先	住所	〒501-4607 郡上市大和町徳永368-1
	電話番号	0575-88-2219、090-4117-5212
	F a x	0575-88-2219
	問合・受付時間	平日9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)
	e メール	siennetgujo@yahoo.co.jp
	ホームページ	—
支援方針 活動内容	<p>在学中(支援学校・不登校)より関わりを持つことによって、ひきこもるご本人・ご家族が相談しやすい環境・状況を作り上げていきます。</p> <p>相談によってご本人・ご家族の苦しみや悩みをやわらげることが目標としています。</p>	
開所時間	平日9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)	
利用手続き	電話にてお問い合わせください。	
利用料	無料	
対象者 (年齢・地域など)	郡上市在住の青年期・成人期の方	
スタッフ情報	相談員2名	
利用状況	ご家族のご利用があります。	
交通機関	長良川鉄道「徳永」駅より徒歩5分	
駐車場	4～5台の駐車が可能です。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	予約が必要です
カウンセリング		
電話相談	○	いつでも対応可能です。
メール相談		
訪問支援		
外出同行		
居場所提供		
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会		
ニュースレター		

支援者からのメッセージ

総合相談窓口として、障がいのある方々・ご家族に限らず、広く地域の方々の悩み・困りごとの相談をお受けします。

名称	⑪ BAKETSUの会	
連絡先	住所	〒508-0015 中津川市手賀野172-1 サンライフ中津川 (活動場所)
	電話番号	080-2668-0527 (花井)
	F a x	—
	問合・受付時間	—
	e メール	baketu2015@yahoo.co.jp
	ホームページ	—
支援方針 活動内容	サンライフ中津川の教養文化室Bにて、行き場のない気持ちや、不安、愚痴などを話せる、場所作りを行っています。話しをする事で少しでも楽になればいいなと思っています。	
開所時間	毎月第3金曜日 13:00~16:30	
利用手続き	なし	
利用料	100円(施設利用料)	
対象者 (年齢・地域など)	不登校、ニート、ひきこもりの子を持つ親さん	
スタッフ情報	不登校、ニート、ひきこもり経験者とその母親	
利用状況	少人数でのんびり過ごしています。	
交通機関	JR「中津川駅」から東鉄バス「サンライフ中津川」下車徒歩1分	
駐車場	サンライフ中津川の駐車場をご利用ください。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談		
カウンセリング		
電話相談		
メール相談	○	いつでも可です。
訪問支援		
外出同行		
居場所提供	○	下記の親の会と合同で開催しています。
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会	○	月1回、話せる場として実施しています。
ニュースレター		
その他		

支援者からのメッセージ

BAKETSUの会は、今をものがいて苦しんでいる子を持つ親たちの息抜きをする場でありたいと思い、開催をしています。

悩み苦しむ気持ちを表現する場がなく、誰にも言えなくて心が飽和状態の親が、世間体を気にしないで、本音で語り合える場でありたいと思います。

名称	アース アズ マザー ⑫NPO法人 Earth as Mother岐阜(東濃エリア)いくるば	
連絡先	住所	〒509-5122 土岐市土岐津町土岐口2087-1 ドリームマウンテンA号室
	電話番号	0572-26-9672
	F a x	0572-26-9672
	問合・受付時間	平日8:30~17:30
	eメール	ikurubatoki2@gmail.com
	ホームページ	「アースアズマザー岐阜」で検索
支援方針内容	<p>「環境と人のあり方を考える」をスローガンに活動しています。昔ながらの有機循環自然農業体験と福祉の連携事業で地域共生社会を目指し、人と人がつながり合うコミュニティの場づくりを行っています。「社会的居場所 いくるば」を利用することにより、生活困窮に陥る前のファーストステップとして無理のない利用や居場所を提供しながら生活自立支援、社会自立支援プログラムを提供し、伴走型で就労準備支援活動を行っています。</p> <p>【活動内容】 土岐市受託事業 社会的居場所事業 生活困窮者就労準備支援事業「いくるば とき」 岐阜県受託事業 東濃圏域ひきこもり居場所事業「いくるば 東濃」</p>	
開所時間	平日9:00~16:00(土・日・祝日を除く)(いくるば とき) 毎月2~3回(いくるば 東濃)	
利用手続き	来所または電話、メールにてお問合せ下さい。	
利用料	無料	
対象者(年齢・地域など)	土岐市にお住いの概ね16才以上の方(いくるば とき) 岐阜県東濃圏域にお住まいの方やご家族(いくるば 東濃)	
スタッフ情報	常勤相談支援員2名。非常勤支援員2名。 (自立相談支援員、就労準備支援員、青少年育成アドバイザー、農業ジョブトレーナー)	
利用状況	当事者やご家族のご利用があります。	
交通機関	JR土岐駅より徒歩15分。バス停土岐市役所前下車すぐ。(土岐津交番すぐ横)	
駐車場	2台駐車可	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	随時対応可
カウンセリング		
電話相談	○	随時対応可
メール相談	○	その都度対応
訪問支援	○	土岐市自立相談支援窓口及び関係機関との連携にて実施
外出同行	○	就労準備支援事業として実施
居場所提供	○	
共同生活		
職場体験	○	地域の企業へ就労体験企業連携協定を結び、職場見学、農業体験、就労体験を実施しています。
就労支援	○	自立相談支援窓口及びハローワーク等との連携にて実施
親の会・家族会	○	
ニュースレター		
その他	○	農業体験、参加型ボランティアなどを積極的に行い、地域の方とのふれあい、場づくりを行っています。

支援者からのメッセージ

有機循環自然農法（完全オーガニック）の田畑で自然の恵みに感謝する心を育む農事体験訓練は、心身が調和し整うだけでなく、利用者の体力回復及び役割や共同作業を学ぶ機会となっております。

社会生活に困難を抱える方、ひきこもりに悩むご本人やご家族の方々が、誰にも相談できず地域社会から孤立してしまう状況の中、社会とのつながりを回復するために、安心して過ごせる場所や、自らの役割を感じられる機会が必要であることから、安心感や共感性を大切に居場所づくりをし、対象者の孤立を防ぎ、社会とのつながりの回復を目指します。

「いくるば」は、利用することによって誰もが未来へ向かって一歩を踏み出せるきっかけとなる「行く・来る・場所」です。

名称	アース アズ マザー ⑬ NPO法人 Earth as Mother岐阜(飛騨エリア)いくるば	
連絡先	住所	〒506-1156 飛騨市神岡町山田2358-2
	電話番号	0578-86-9120
	F a x	0578-86-9121
	問合・受付時間	平日8:30~17:00
	eメール	earthasmothergifuhida@gmail.com
	ホームページ	「アースアズマザー岐阜」で検索
支援方針 活動内容	<p>「環境と人のあり方を考える」をスローガンに活動しています。 昔ながらの有機循環自然農業体験と福祉の連携事業で地域共生社会を目指し、人と人がつながり合うコミュニティの場づくりを行っています。「社会的居場所 いくるば」を利用することにより、生活困窮に陥る前のファーストステップとして無理のない利用や居場所を提供しながら生活自立支援、社会自立支援プログラムを提供し、伴走型で就労準備支援活動を行っています。</p> <p>【活動内容】</p> <p>飛騨市受託事業 居場所事業 生活困窮者就労準備支援事業 「いくるば ひだ」</p> <p>岐阜県受託事業 飛騨圏域ひきこもり居場所事業 「いくるば ひだ・たかやま」</p>	
開所時間	平日9:00~16:00(土・日・祝日を除く)(いくるば ひだ) 毎月2~3回(いくるば ひだ・たかやま)	
利用手続き	来所または電話、メールにてお問合せ下さい。	
利用料	無料	
対象者 (年齢・地域など)	飛騨市及び近隣地域にお住いの16才以上の方(いくるば ひだ) 岐阜県飛騨圏域にお住まいの方(いくるば ひだ・たかやま)	
スタッフ情報	保育士、産業カウンセラー、社会福祉士、体験者家族(県居場所)	
利用状況	当事者やご家族のご利用があります。	
交通機関	飛騨市路線バス 流葉口 又は 山田体育館前下車 徒歩5分	
駐車場	駐車場あり	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	随時対応可
カウンセリング		
電話相談	○	随時対応可
メール相談	○	その都度対応
訪問支援	○	飛騨市自立相談支援窓口及び関係機関との連携にて実施
外出同行	○	就労準備支援事業として実施
居場所提供	○	
共同生活		
職場体験	○	地域の企業へ職場見学、農業体験、就労体験を実施しています。
就労支援	○	自立相談支援窓口との連携にて実施
親の会・家族会	○	
ニュースレター		
その他	○	農業体験、参加型ボランティアなどを積極的に行い、地域の方とのふれあい、場づくりを行っています。

支援者からのメッセージ

有機循環自然農法（完全オーガニック）の田畑で自然の恵みに感謝する心を育む農事体験訓練は、心身が調和し整うだけでなく、利用者の体力回復及び役割や共同作業を学ぶ機会となっております。

社会生活に困難を抱える方、ひきこもりに悩むご本人やご家族の方々が、誰にも相談できず地域社会から孤立してしまう状況の中、社会とのつながりを回復するために、安心して過ごせる場所や、自らの役割を感じられる機会が必要であることから、安心感や共感性を大切に居場所づくりをし、対象者の孤立を防ぎ、社会とのつながりの回復を目指します。

「いくるば」は、利用することによって誰もが未来へ向かって一歩を踏み出せるきっかけとなる「行く・来る・場所」です。

名称	⑭ アンダンテ実行委員会	
連絡先	住所	〒506-0021 高山市名田町5-5-3 会場は高山市民文化会館
	電話番号	0577-36-2203 (足立)
	F a x	
	問合・受付時間	留守電に入れてもらえば、折り返し連絡します。
	e メール	
	ホームページ	
支援方針 活動内容	ひきこもり・不登校の子を持つ家族が、同じ思いを共有する方 同士で話をする中で、少しでも気持ちが楽になるようにしたい と思います。 本人にニュースレターを送っています。	
開所時間	親の会は、各回ともに月1回2時間ずつです。 (詳細は「支援内容」を参照ください)	
利用手続き	各月によって日にちが変わるので、電話で問い合わせてください。	
利用料	200円(会場費)	
対象者 (年齢・地域など)	どなたでも。 都合が合わなければ、他の年代の時間でも参加できます。	
スタッフ情報		
利用状況	3つの会併せて 月10～15人	
交通機関	高山駅西口(白山口) 出ですぐ	
駐車場	他に催し物がない限り、文化会館駐車場が利用できます。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談		
カウンセリング		
電話相談		
メール相談		
訪問支援		
外出同行		
居場所提供		
共同生活		
職場体験	○	ボランティアできる仕事を紹介します。
就労支援		
親の会・家族会	○	不登校～10代（休日14:00～）、20代～30代（平日19:00～）、30代～40代（休止中）と年代ごとに開催 参加費200円
ニュースレター	○	当事者の文章、イラスト、マンガなど、原稿が集まったら発行
その他		

支援者からのメッセージ

同じ悩みを持つ親（家族）同士の話は、話して心が少し楽になり、聞きつつ自分の心を見つめる場になるようです。

子どもの苦しみを解決することはできませんが、親（家族）自身の課題は、話し合いの中で整理していくことができそうです。

良かったら、来てみてください。

名称	⑮ あゆむ会	
連絡先	住所	〒506-0058 高山市山田町831番地43 (ひだ子ども家庭支援センターぱすてる)
	電話番号	0577-37-1061
	F a x	0577-37-1063
	問合・受付時間	平日 9:00~18:00
	e メール	pastel@yuhigaoka-kureyon.jp
	ホームページ	http://pastel75.wixsite.com/hida-childsupport
支援方針 活動内容	<p>心理カウンセラーの目加田信剛先生をSVとして、グループカウンセリング形式で、当事者やご家族の方々のお話を聴かせていただきご助言をいただきます。</p> <p>また「交流分析」をベースとした人間の認知のあり方や行動についての学習会も実施しています。</p>	
開所時間	毎月第二水曜日 19:00~21:00 (変更の場合あり、ご確認ください)	
利用手続き	ひだ子ども家庭支援センターぱすてるに お問い合わせ、お申し込みください	
利用料	1回 500円	
対象者 (年齢・地域など)	飛騨地域のお子さんから大人の方まで	
スタッフ情報	心理カウンセラー (講師) その他センタースタッフ (社会福祉士、精神保健福祉士)	
利用状況	毎回、当事者のご家族を中心に10名程度の参加	
交通機関	最寄駅 JR高山駅 からバスで約15分 (経路による)	
駐車場	あり。無料。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談		
カウンセリング	○	月1回、グループカウンセリングとして、心理カウンセラーの先生を交えて実施しています。
電話相談		
メール相談		
訪問支援		
外出同行		
居場所提供		
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会		
ニュースレター		
その他	○	「交流分析」をベースとした人間の認知のあり方や行動についての学習会等も実施しています。

支援者からのメッセージ

「あなたはあなたのままでいい」をモットーに、今の状況をご本人やご家族の方が肯定的に受け入れられることを願っています。

また、「あゆむ会」の開催場所である「ひだ子ども家庭支援センターぱすてる」は、お子さん・ご家族・地域の方々から、子育てや家庭のいろいろなご相談をお受けして、電話・来所・訪問などで支援をさせていただく機関です。お気軽にご相談ください。

名称	⑩ ひきこもり相談・交流の場 ツナガルCafé	
連絡先	住所	〒506-0025 高山市天満町4-64-8 第一ビル1F (実施場所は高山市総合福祉センター)
	電話番号	0577-32-8736 (ひだ障がい者総合支援センターぷりずむ)
	F a x	0577-32-6281
	問合・受付時間	8:30~17:00
	e メール	prism@hida-jikokai.or.jp
	ホームページ	https://tunagarucafe.hida-ch.com/
支援方針 活動内容	<p>飲み物を片手に、リラックスしながらお話ができる場を提供しています。ご家族や個別相談には、専門職や同じ立場の経験を持つ家族が対応します。また、精神科医やひきこもりに関する講師をお招きし、ミニ講座を開催することがあります。</p> <p>ご家族同士や小グループに分かれての座談会では、気持ちを共有したり、互いに学び合う時間を持てます。さらに、ひきこもり経験者やそのご家族による体験談を聞く機会も設けています。</p> <p>当事者スペースでは、趣味の話や悩み事を自由に語り合うことができます、安心できる場所を目指しています。</p>	
開所時間	毎月1回 第2日曜日 10:00~12:00	
利用手続き	なし	
利用料	なし	
対象者 (年齢・地域など)	どなたでも。	
スタッフ情報	支援センタースタッフと当事者の家族	
利用状況	毎回20名程度の参加があります。	
交通機関	高山駅(西口)から徒歩5分	
駐車場	高山市総合福祉センターの駐車場が満車の場合は、高山駅西駐車場をご利用ください。ツナガルCafé終了後、駐車券を1階受付にて提示すると無料駐車券がもらえます。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	要予約です。
カウンセリング		
電話相談		
メール相談	○	
訪問支援		
外出同行		
居場所提供		
共同生活		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会	○	月1回、気軽にお話できる場として実施しています。
ニュースレター		
その他		公式LINEやInstagramで、定期的にお知らせをお届けしています。ゆるやかに活動をチェックしていただけると嬉しいです。 公式LINE ID : @600ssfoe Instagram : アカウント検索 「tunagaru_cafe」 お気軽にフォローしてくださいね!

支援者からのメッセージ

ツナガルCaféは、支援機関が主導する場ではなく、関わる皆さん一人ひとりが少しずつ力を寄せ合い、みんなで育てていく場所だと感じています。「私たちは微力だけど無力ではない」という言葉がありますが、この活動を通じて、その大切さを実感しています。

ひきこもりに悩む当事者やご家族、またその周りの方々の心の中に、温かい灯がともることを心から願っています。私たちは、ひきこもること自体を悪いこととは考えていません。なぜなら、自分を守るためにひきこもることも大切だからです。

ただ、「また外に出てみたい」「何かを始めたい」と思ったとき、どうしたらいいのか迷う方も多いのではないのでしょうか。そんな方たちと私たちはつながりたいと願っています。ツナガルCaféがそんな一歩を踏み出すきっかけやヒントになれば幸いです。まずはお気軽にご連絡ください。

名称	⑰一般社団法人 もちもちびと	
連絡先	住所	〒506-0821 岐阜県高山市神明町4丁目57-2
	電話番号	0577-36-5737
	F a x	同上
	問合・受付時間	平日 9:00~17:00
	e メール	mochimochibito@gmail.com
	ホームページ	「もちもちびと」で検索
支援方針 活動内容	<p>「持ちつ持たれつ」という理念の基、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）の豊かな地域社会を目指して活動しています。</p> <p>生きづらさや困難を抱えている方々が、各々に合った学び方・生き方・働き方を見つけ、実践できるようになるよう伴走的支援を心がけています。</p>	
開所時間	<ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練ひるねこ：平日10:00~17:00 土曜祝日不定期 ・こどもの基地ねこのひげ：学校のある平日9:00~15:00 ・ひるねこピアフリースペース：月1回土曜13:30~16:00 ・みんなの夕方居場所よるねこ：ほぼ毎週金曜17:30~20:30 <p>*変更もあるため、ホームページや電話でご確認ください。</p>	
利用手続き	電話・メールにて問い合わせください。	
利用料	無料(食事提供については別途費用あり)	
対象者 (年齢・地域など)	<ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練ひるねこ：18~65歳(要障害福祉サービス受給者証) ・こどもの基地ねこのひげ：小・中学生(16歳以上応相談) ・ひるねこピアフリースペース：16歳くらいから大人 ・みんなの夕方居場所よるねこ：どなたでも 	
スタッフ情報	社会福祉士・保育士・当事者家族・ピアサポーター	
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練ひるねこ：5~10名程度/日 ・こどもの基地ねこのひげ：5~10名程度/日 ・ひるねこピアフリースペース：4~8名程度/回 ・みんなの夕方居場所よるねこ：12~25名程度/回 	
交通機関	JR高山駅より徒歩15分程度	
駐車場	近隣の市営駐車場をご利用ください	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	要予約です
カウンセリング		
電話相談		
メール相談		
訪問支援	○	対象：自立訓練ひるねこ登録者
外出同行		
居場所提供	○	
共同生活		
学習支援	○	対象：自立訓練ひるねこ登録者
職場体験	○	対象：自立訓練ひるねこ登録者
就労支援	○	対象：こどもの基地ねこのひげ
親の会・家族会		
ニュースレター		

支援者からのメッセージ

こどももおとなも だれでも もじやもじやした思いになって、どこに行ったらいいかわからなくなる時があつて。
 そんな時に来られる場所でありたいと思っています。
 そして、それが悪いことじゃないといえる街になったらいいな。と、イベントやそれぞれの立場の話し合える場も行っています。
 誰もが安心して悩んだり立ち止まったり、次に進んだりできるように。
 一緒にその時間を過ごしましょう。
 もちもちびとに、お気軽にお問い合わせくださいね。

名称	⑱ 岐阜オレンジの会	
連絡先	住所	〒453-0016 愛知県名古屋市中村区竹橋町4番3号 3F
	電話番号	052-459-5116
	F a x	052-459-5116
	問合・受付時間	平日（水曜日を除く）10:00～17:00
	eメール	gifu.orange.0520@gmail.com
	ホームページ	http://gifuorange.wixsite.com
支援方針 活動内容	<p>岐阜オレンジの会は社会的ひきこもりや発達障害、生活困窮者など生き辛さを抱える方々の支援を目的として活動しています。岐阜オレンジの会ではそうした方々を支えるご家族を対象に、啓蒙活動などをはじめとして、問題解決にむけて様々な支援を行っています。</p> <p>ハートフルスクエア-Gにて交流家族会を開催。</p>	
開所時間	毎月1回 土曜日または日曜日 13:00～15:00	
利用手続き	お電話またはeメールにてお問合せください。	
利用料	月会費 1,000円他	
対象者 (年齢・地域など)	岐阜県在住で、ひきこもり当事者のご家族の方	
スタッフ情報	社会福祉士、KHJピアサポーター、元当事者など	
利用状況	平均すると、親御さんを中心としたご家族の方10名程度にご利用いただいています。	
交通機関	JR岐阜駅より徒歩2分（駅構内から2階連絡通路で通じています）	
駐車場	南側の駐車場入り口より、3F駐車場をご利用ください（～8時間30分毎に150円）	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	交流家族会開催時間内に、別席を設け順次実施しています。
カウンセリング		
電話相談		
メール相談		
訪問支援	○	要相談
外出同行		
居場所提供		
共同生活		
学習支援		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会	○	岐阜オレンジの会利用同意書にサインをいただいた上での入会となります。
ニュースレター		

支援者からのメッセージ

ひきこもり状態に悩むご家族の家族支援の集まり「岐阜オレンジの会」
 ご親戚やお知り合いの方には話しにくい悩みを抱えている方、一人で家庭の中で行き
 詰まりを感じている方、ご家族に向けた家族支援の会を開催しております。
 まずはお気軽にお電話ください。ご連絡お待ちしております。

6 岐阜県ひきこもり地域支援センター

名称	ひきこもり地域支援センター（精神保健福祉センター内）	
連絡先	住所	〒502-0854 岐阜市鷺山向井2563-18（岐阜県障がい者総合相談センター内）
	電話番号	058-231-9724
	F a x	058-233-5133
	問合・受付時間	平日9:00～12:00、13:00～17:00（年末年始・祝日を除く）
	eメール	—
	ホームページ	https://www.pref.gifu.lg.jp/page/14947.html
支援方針 活動内容	ひきこもりご本人やご家族などを対象とした相談機関です。当センターでは、社会に出ることのみを目標とするのではなく、ご本人の望む社会との関わり方を一緒に考え、サポートしていきます。 個別相談（電話・面談）、本人グループミーティング、家族グループミーティング、ひきこもり講座など実施しています。	
開所時間	平日8:30～17:15（年末年始・祝日を除く）	
利用手続き	面談相談には予約が必要です。お電話にてお問合せください。	
利用料	無料	
対象者 （年齢・地域など）	岐阜県在住のひきこもりに悩むご本人やご家族の方	
スタッフ情報	精神科医、社会福祉士、保健師、公認心理師、精神保健福祉士 等	
利用状況	本人グループミーティング：4～6名 家族グループミーティング：15名前後	
交通機関	路線バスをご利用の場合（最寄りのバス停） ・三田洞線「メモリアル正面前」バス停から580m ・忠節長良線「さぎ山向井町」バス停から150m	
駐車場	センター正面の駐車可能台数は限られていますので、満車の場合は世界イベント村ぎふ駐車場（有料）をご利用ください。	

支援内容

支援項目	実施	内容など
面接相談	○	月・水・木・金曜日の9:00~16:00 (年末年始・祝日を除く)
カウンセリング		
電話相談	○	平日9:00~12:00、13:00~17:00 (年末年始・祝日を除く)
メール相談		
訪問支援		
外出同行		
居場所提供	○	本人グループミーティング：月1回、 フリースペースいこい：月2回程度 金曜日午後(センター内) 「ららの森」月1回(岐阜県図書館内)
共同生活		
学習支援		
職場体験		
就労支援		
親の会・家族会	○	精神科医との座談会、家族同士の話し合い、学習会などを実施
ニュースレター		

支援者からのメッセージ

ひきこもりは様々な見方や支援の考え方があります。当センターのひきこもり支援は、就学や就労支援という枠を超えて、すべての年代の方が“自分らしく生きる”ことにつながるものだと考えています。

勇気を出して相談されたことに思いを寄せ、今できることを共に考えるように努めています。そして、ご本人の望む生き方を一緒に探しながら、社会とつながることを目指しています。

6 岐阜県ひきこもり地域支援センター（続き）

活動紹介

親の会・家族会

家族グループミーティング

ご家族の抱える悩みをわちあい、ひきこもりのご本人との向きあい方を考える場として開催しています。

【主な活動】

- ・家族同士の交流
- ・ひきこもりに関する学習会
- ・精神科医との座談会

本人の会

本人グループミーティング

同じ悩みを抱える仲間が安心し集える場として開催しています。

【主な活動】

室内活動：簡単な料理、ゲーム、生活に役立つミニ講座、
クリスマス会など季節のイベント

室外活動：ウォーキング、バーベキュー、初詣、施設見学など

※原則無料ですが、活動内容により実費をご負担いただくことがあります。

居場所

当事者の方が気軽に集まれる居場所を提供しています。

◆月1回

場所：岐阜県図書館 2階 研修室

◆月2回程度 金曜日 午後 フリースペースいこい

場所：岐阜県精神保健福祉センター（障がい者総合相談センター 2階）

※事前にお問合わせください



7 岐阜県内の相談窓口

○保健所

ひきこもりに悩む方のご相談を保健師等がお受けします。また、精神科医による精神保健福祉相談（要予約）や、受診に関する相談等を行っています。

機関名	電話番号	担当地区
岐阜保健所	058-380-3004	羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡（岐南町、笠松町）、本巣郡（北方町）
西濃保健所	0584-73-1111(代)	大垣市、海津市、養老郡（養老町）、不破郡（垂井町、関ヶ原町）安八郡（神戸町、輪之内町、安八町）、揖斐郡（揖斐川町、大野町、池田町）
関保健所	0575-33-4011(代)	関市、美濃市、郡上市
可茂保健所	0574-25-3111(代)	美濃加茂市、可児市、加茂郡（坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村）、可児郡（御嵩町）
東濃保健所	0572-23-1111(代)	多治見市、瑞浪市、土岐市
恵那保健所	0573-26-1111(代)	中津川市、恵那市
飛騨保健所	0577-33-1111(代)	高山市、飛騨市、下呂市、大野郡（白川村）
岐阜市保健所 (地域保健課)	058-252-7191	岐阜市 ※岐阜市の方のひきこもりに関する相談は「ひきこもり相談室」が担当しています。 (市町村窓口、P53参照)
開所時間	平日8:30～17:15（祝日、年末年始を除く） 岐阜市保健所のみ平日8:45～17:30（祝日、年末年始を除く）	

○岐阜県青少年SOSセンター

専門の相談員が、心の声に耳を傾け、丁寧に対応します。

臨床心理士と社会福祉士がそれぞれ月1回来所して面接相談を行っています。事前にご予約ください。相談内容や相談者のご希望により、他の専門的な相談機関や支援機関との連携したり、紹介等を行っています。

所在地	〒500-8384 岐阜市数田南5-14-53 (OKBふれあい会館)
連絡先	電話番号:0120-247-505 FAX:0120-505-783 メール:s-soudan@govt.pref.gifu.jp
問合・受付時間	24時間受付(電話、電子メール)
対象者 (年齢・地域等)	岐阜県在住の小・中学生・高校生、概ね39歳までの若者とその保護者(家族・親類等)

○子ども相談センター

児童福祉法に基づいて設置されている児童相談所です。

悩みを持っているお子さん自身、ご両親や家族、関係機関や、地域の方から18歳未満のお子さんについての相談に応じ、共に考え、援助します。

機関名	電話番号	担当地区 *18歳未満のお子さんが対象です。
中央子ども相談センター	058-201-2111(代)	岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡(岐南町、笠松町)、本巣郡(北方町)
西濃子ども相談センター	0584-78-4838	大垣市、海津市、養老郡(養老町)、不破郡(垂井町、関ヶ原町)安八郡(神戸町、輪之内町、安八町)、揖斐郡(揖斐川町、大野町、池田町)
中濃子ども相談センター	0574-25-3111(代)	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡(坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村)、可児郡(御嵩町)
東濃子ども相談センター	0572-23-1111(代)	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市
飛騨子ども相談センター	0577-32-0594	高山市、飛騨市、下呂市、大野郡(白川村)
開所時間	月～金曜日 8:30～17:15 (ただし、祝日と年末年始を除く)	

○発達障害者支援センター

発達障がいのある方やその家族及び関係機関の方々に対して相談支援等を行っています。

所在地	〒502-0854 岐阜市鷺山向井2563-18 (岐阜県障がい者総合相談センター2階)
電話番号 開所時間	058-233-5116 平日8:30～17:15 (祝日、年末年始を除く)
相談受付	相談専用ダイヤル:058-233-5106 平日9:00～16:00 (祝日、年末年始を除く)

○24時間子供SOSダイヤル

いじめ、不登校、学習、進路、友だち、親子関係、人権に関することなどの電話相談を受け付けています。

連絡先	電話番号:0120-0-78310 <small>なやみおう</small> (携帯電話からもつながります)
問合・受付時間	24時間対応
対象者	県内在住の小・中学生・高校生及びその保護者等

○教育相談ほほえみダイヤル

いじめ、不登校、学習、進路、友だち、親子関係などで悩んだり、困ったりした場合、お近くの岐阜県教育委員会 各教育事務所へつながります。

連 絡 先	電話番号：0120-745-070（携帯電話からはつながりません）
問 合 ・ 受 付 時 間	平日9:30～16:15（祝日、年末年始を除く）

○ぎふ法務少年支援センター

地域の非行・犯罪の防止、青少年の健全育成のために、子ども等の能力・性格検査、問題行動の分析や指導方法の提案、子どもや保護者に対する心理相談、事例検討会への参加、研修・講演、法教育等の支援を行っています。

所 在 地	〒502-0851 岐阜市鷺山1769-20
連 絡 先	電話番号：058-232-1123
開 所 時 間	平日9:00～17:00（祝日、年末年始を除く）
対 象 者 （年齢・地域等）	年齢：限定なし 地域等：岐阜県内にお住まいの方

○岐阜県若者サポートステーション

若者の社会的・職業的自立を目指すための総合相談窓口です。働くことについてさまざまな悩みを抱えている無業状態の方の就労をサポートします。相談・プログラムの参加はすべて無料・予約制です。

所 在 地	本 所 （岐阜市） 〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-1 アクティブG2F 飛騨高山サテライト（高山市） 〒506-0025 高山市天満町5-1-25 飛騨地域地場産業振興センター4F その他、大垣・郡上・可児・多治見・恵那・中津川・飛騨・下呂でも出張相談を実施しています。詳細はお問合せください。
電 話 番 号	本 所 （岐阜市）058-216-0125 飛騨高山サテライト（高山市）0577-35-4770 メール：gifusapo@icds.jp
開 所 時 間	本 所 （岐阜市）10:00～17:00（月～金・第4土曜日） 飛騨高山サテライト（高山市）10:00～17:00（月～金・第1土曜日）
備 考 *対象者（年齢・地域等）	15歳～49歳までの無業状態の方、およびその保護者

○ハローワーク (公共職業安定所)

ハローワークでは、ひきこもり状態が解消された後の就労支援を行っています。

ご本人に来所いただき、個別相談の上、職業訓練の案内や、職業相談、職業紹介などを行います。

機関名	電話番号	所在地
ハローワーク 岐阜	058-247-3211	岐阜市五坪1-9-1 岐阜労働総合庁舎
ハローワーク大垣	0584-73-8609	大垣市藤江町1-1-8
ハローワーク 揖斐	0585-22-0149	揖斐郡揖斐川町極楽寺字村前95-1
ハローワーク多治見	0572-22-3381	多治見市音羽町5-39-1 多治見労働総合庁舎
ハローワーク 高山	0577-32-1144	高山市昭和町2-220 高山合同庁舎
ハローワーク 恵那	0573-26-1341	恵那市長島町正家1-3-12 恵那合同庁舎
ハローワーク 関	0575-22-3223	関市西本郷通4-6-10
ハローワーク岐阜八幡	0575-65-3108	郡上市八幡町有坂1209-2 郡上八幡地方合同庁舎
ハローワーク美濃加茂	0574-25-2178	美濃加茂市深田町1-206-9
ハローワーク中津川	0573-66-1337	中津川市かやの木町4-3 中津川合同庁舎
岐阜わかもの支援コーナー	058-264-7556	岐阜市吉野町6-31岐阜スカイウイング37東棟2階
利用時間	平日 8:30~17:15 (祝日、年末年始を除く) 岐阜わかもの支援コーナーのみ 10:00~18:00 (月・火・木・金)、 10:00~19:00 (水) (祝日、年末年始を除く)	

○警察 (警察安全相談)

犯罪等による被害の未然防止その他県民の安全と平穩に関する相談を受け付けています。ひきこもるご本人・ご家族の、犯罪等による困りごとに対して、助言・指導等を行います。また、県下各警察署でも受け付けています。なお、事件・事故等緊急時には、110番通報をお願いします。

所在地	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県警察本部
電話番号	#9110
問合・受付時間	24時間 (面談は、平日の執務時間 (8:30~17:15))

○岐阜県生活支援・相談センター（岐阜県社会福祉協議会）

「生活に困っているが、どこに相談に行ったらよいかわからない」「仕事がなかなか見つからない」など生活や就労にお困りの方に対し、専門の支援員が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。ご家族など、まわりの人からの相談も受け付けます。

機関名	電話番号	担当地区
岐阜県生活支援・相談センター 岐阜支所	0800-200-2536	岐南町、笠松町、北方町
岐阜県生活支援・相談センター 西濃支所	0800-200-2532	養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町
岐阜県生活支援・相談センター 揖斐支所	0800-200-2537	揖斐川町、大野町、池田町
岐阜県生活支援・相談センター 中濃・飛騨支所	0800-200-2538	坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、白川村
開 所 時 間	平日8:30~17:15（祝日、年末年始を除く）	

○市町村・社会福祉協議会

各市町村では、健康に関すること、障害者等福祉サービスに関すること、生活困窮者に対する相談支援などを行っています。また、ひきこもり支援の相談については、市町村により窓口が異なりますので、各相談窓口にお問合わせください。

●岐阜地域

	担当課名	電話番号	備考
岐 阜 市	ひきこもり相談室	058-214-3703	
	中保健センター	058-214-6630	
	南保健センター	058-271-8010	
	北保健センター	058-232-7681	
	子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”	0120-43-7830	0歳から20歳前までの若者を対象 gifu-kodomo-wakamono@world.ocn.ne.jp
	中央青少年会館	058-266-0566	概ね35歳までの若者を対象
	障がい福祉課（相談係）	058-214-2572	
	生活・就労サポートセンター（生活福祉二課）	058-265-3777	生活にお困りの方を対象
	岐阜市社会福祉協議会	058-255-5511	

	担当課名	電話番号	備考
羽 島 市	子育て・健幸課	058-392-1111	(内線5302)
	福祉課	058-392-1111	(内線2516)
	羽島市社会福祉協議会	058-391-0631	
各務原市	生活支援課	058-383-2124	
	各務原市社会福祉協議会	058-383-7610	
山 県 市	福祉課	0581-22-6837	
	健康介護課	0581-22-6838	
	山県市社会福祉協議会	0581-23-1211	
瑞 穂 市	福祉生活課	058-327-4123	65歳まで
	健康推進課	058-327-8611	
	地域福祉高齢課	058-327-4126	65歳以上
	瑞穂市社会福祉協議会 福祉総合相談センター	058-322-8668	
	瑞穂市社会福祉協議会 地域包括支援センター	058-327-4118	65歳以上
本 巢 市	福祉支援課	058-323-7752	
	健康支援課	058-320-0153	
	本巢市社会福祉協議会	058-320-0531	
	福祉総合相談室	058-323-8115	
岐 南 町	健康推進課	058-247-1321	
	福祉課	058-247-1348	
	岐南町社会福祉協議会	058-240-2100	
笠 松 町	健康介護課	058-388-7171	健康に関すること
	福祉子ども課	058-388-1116	障害者福祉サービス、 生活困窮に関する事
	笠松町社会福祉協議会	058-387-5332	
北 方 町	福祉子ども課	058-323-1119	
	保健センター	058-323-7600	
	北方町社会福祉協議会	058-324-6550	

●西濃地域

	担当課名	電話番号	備考
大垣市	障がい福祉課	0584-47-7298	
	保健センター	0584-75-2322	
	社会福祉課	0584-47-7214	
	高齢福祉課	0584-47-7416	
	大垣市生活支援相談センター (大垣市社会福祉協議会)	代表0584-78-8181 直通0584-75-0014	
海津市	社会福祉課	0584-53-1139	
	海津市くらしサポートセンター (海津市社会福祉協議会)	0120-108-022 0584-52-1710	社会福祉課内に事業所あり
	地域包括支援センター	0584-53-3030	
	健康課	0584-53-1317	
養老町	保健センター	0584-32-9025	
	健康福祉課	0584-32-1105	
	養老町社会福祉協議会	0584-34-3504	
垂井町	健康福祉課	0584-22-7520	
	保健センター	0584-22-1021	
	垂井町社会福祉協議会	0584-23-3335	
関ヶ原町	やすらぎ健康増進センター	0584-43-3201	
	住民課	0584-43-1113	
	関ヶ原町社会福祉協議会	0584-43-2943	
神戸町	健康福祉課	0584-27-0175	
	保健センター	0584-27-7555	
	神戸町社会福祉協議会	0584-28-0223	
輪之内町	福祉介護課	0584-69-3128	
	保健センター	0584-69-5155	
	輪之内町社会福祉協議会	0584-69-4433	
安八町	福祉課	0584-64-7104	
	保健センター	0584-64-3775	
	安八町社会福祉協議会	0584-47-7704	
揖斐川町	揖斐川保健センター	0585-23-1511	
	健康福祉課	0585-22-2790	
	揖斐川町社会福祉協議会	0585-56-3700	
大野町	福祉課	0585-35-5369	
	保健センター	0585-34-2333	
	大野町社会福祉協議会	0585-34-2130	
池田町	保健センター	0585-45-3191	
	健康福祉課	0585-45-3111	
	池田町社会福祉協議会	0585-45-8123	

●中濃地域

	担当課名	電話番号	備考
関 市	福祉政策課地域共生推進室	0575-23-7798	
	関市社会福祉協議会	0575-23-5444	関市くらし・まるごと支援センター
美 濃 市	保健センター	0575-33-0550	
	健康福祉課	0575-33-1122	
	美濃市社会福祉協議会	0575-35-2355	
美濃加茂市	福祉課	0574-25-2111	内線314 (発達支援センター) 内線325 (障がい福祉係) 内線341 (心と暮らしの相談窓口)
	健康課	0574-66-1365	
	美濃加茂市社会福祉協議会	0574-28-6111	
可 児 市	福祉支援課・健康増進課	0574-62-1111	
	可児市社会福祉協議会	0574-62-1555	
郡 上 市	健康課 (やまつつじ)	0575-88-4511	
	社会福祉課	0575-67-1811	
	郡上市社会福祉協議会	0575-88-9988	
坂 祝 町	福祉課	0574-66-2406	
	坂祝町社会福祉協議会	0574-27-1222	くらしの安心相談室サンライフ
富 加 町	福祉保健課 (保健)	0574-54-2117	精神保健担当
	福祉保健課 (福祉)	0574-54-2183	同上
	福祉保健課 (包括支援センター)	0574-54-2184	高齢者 (65歳以上)
	富加町社会福祉協議会	0574-54-1312	
川 辺 町	健康福祉課	0574-53-2515	
	川辺町社会福祉協議会	0574-53-2121	
七 宗 町	住民課健康係 (生きがい健康センター)	0574-48-2046	
	住民課福祉係	0574-48-1112	
	七宗町社会福祉協議会	0574-46-1294	
八百津町	健康福祉課	0574-43-2111	健康増進係 (2569/2561) 福祉係 (2563/2564)
	八百津町社会福祉協議会	0574-43-4462	
白 川 町	保健福祉課	0574-72-2317	
	白川町社会福祉協議会	0574-72-2327	
東白川村	保健福祉課	0574-78-2100	保健福祉センター内
御 嵩 町	福祉子ども課 保健予防係	0574-67-2111	健康に関すること
	福祉子ども課 社会福祉係	0574-67-2111	障がい福祉サービス、生活困窮に関すること

●東濃地域

	担当課名	電話番号	備考
多治見市	保健センター	0572-23-5960	
	福祉課	0572-23-5806	
	生活自立支援センター (多治見市社会福祉協議会)	0572-24-3502	
中津川市	社会福祉課	0573-66-1111	(内線686、593)
	健康医療課	0573-66-1111	(内線627)
	中津川市生活相談センターういず (中津川市社会福祉協議会)	0573-66-1111	(内線643)
瑞浪市	社会福祉課	0572-68-2112	生活保護、生活困窮相談
		0572-68-2113	障がい福祉サービス等に関する相談
	こども家庭課	0572-68-9210	児童家庭相談
	健康づくり課	0572-68-9785	健康に関する相談
	市民協働課	0572-68-9748	市民相談
	高齢福祉課	0572-68-2117	高齢者に関する相談
	瑞浪市社会福祉協議会	0572-68-4148	毎月第2・4火曜日 ご本人・ご家族対象の居場所「ふらっと」
恵那市	社会福祉課	0573-26-6824	福祉総合相談
	恵那市社会福祉協議会	0573-25-6424	生活就労サポートセンター
		0573-26-2212	障がい者相談支援事業所
		0573-26-5221	地域生活支援拠点「ぷらっと」
土岐市	福祉課障がい福祉係	0572-54-1350	障害者等福祉サービスに関すること
	保健センター	0572-55-2010	健康に関すること
	生活・就労サポートセンタ土岐	0572-54-1357	生活困窮者に対する相談支援
	土岐市社会福祉協議会	0572-57-6661	

●飛騨地域

	担当課名	電話番号	備考
高山市	福祉サービス総合相談センター (高山市社会福祉協議会)	0577-35-3002	福祉課内
	福祉課	0577-35-3139	
	健康推進課	0577-35-3160	
	高山市社会福祉協議会	0577-35-0294	高山市総合福祉センター 地域福祉課
飛騨市	総合福祉課	0577-73-7483	社会福祉係・地域生活安心支援センター
	市民保健課	0577-73-2948	健康推進係(精神保健担当)
下呂市	社会福祉課	0576-52-3936	
	健康課	0576-24-2632	健康に関すること
	地域包括支援センター	0576-53-2100	
	生活サポート相談センター すまいるげろ (下呂市社会福祉協議会)	0576-23-0783	
白川村	村民課	05769-6-1311	
	白川村社会福祉協議会	05769-6-1311	

◆掲載している機関・団体について

本ガイドブックに掲載している機関・団体は、令和7年1月時点において、当センターで把握している機関・団体で、ガイドブックへの掲載の同意をいただいた機関・団体です。したがって、県内のすべての支援機関等を網羅しているわけではありません。

また、本ガイドブックは、ひきこもりのご本人やその家族に対して各支援機関等の情報提供することを目的としており、当センターが各支援機関等を推薦しているわけではありません。

掲載されている支援内容の詳細等については、直接、各支援機関等へお問い合わせください。



*岐阜県ひきこもり地域支援センターのホームページにも情報を掲載していますので、併せてご活用ください。

*営利目的の複製と情報改編を禁止します。

岐阜県ひきこもり支援ガイドブック

2025年(令和7年)3月発行

編集・発行

岐阜県精神保健福祉センター

(岐阜県ひきこもり地域支援センター)

〒502-0854 岐阜市鷺山向井2563-18

電話:058-231-9732 Fax:058-233-5133

岐阜県ひきこもり地域支援センター

検索



イラスト提供者:小路希世さん(ペンネーム)

